

技術・家庭科（家庭分野）の学習について（第3学年）

1 技術・家庭科（家庭分野）の目標

- 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境等について、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決しようとする力を養う。
- 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 学習計画

1 学期	2 学期	3 学期
<ul style="list-style-type: none">• 幼児のころと今の自分• 幼児の体の発達• 幼児の心の発達• 発達にとってのおとなの役割• 遊びが必要なわけ• 遊びを支える環境	<ul style="list-style-type: none">• 絵本について学ぶ• 幼児が喜ぶおもちゃ• 幼児とのかかわり• 幼児ふれあい体験	<ul style="list-style-type: none">• 家庭生活と地域との関わり• 持続可能な家庭生活

3 評価の観点 評価の資料

観 点	学習活動及び評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none">• 生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境についての基礎的な理解と、それに係る技能が身に付ける。（定期テスト、作品の製作、幼児ふれあい体験等）
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none">• 家族・家庭や地域における生活の中から家族・家庭生活・食生活について問題を見だし、課題をもって考え、解決する力を身に付ける。（日頃の課題への取り組み、レポート課題への取り組み、話し合い活動、発表等）
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none">• 身近な生活の課題を主体的に捉え、具体的な実践を通して、課題の解決を目指す。（話し合い活動への参加、授業の取り組み姿勢、日頃の課題への取り組み、提出等）